

* * * イカナゴ情報 No. 3 * * *

北海道立中央水産試験場

後志南部地区水産技術普及指導所

4/26 に寿都で漁獲物組成調査を実施

26日に寿都でコウナゴの初漁があり約100kgが水揚げされました。指導所にて漁獲物のサンプル測定をしましたので結果をお知らせします。寿都町漁協、漁業者の皆様、いつもご協力ありがとうございます。

体長の平均は19.5mm

早い群は既に漁獲適正サイズ(23mm)に

後続の成長群が漁獲適正サイズになり本格的な漁期を迎えるのは5月1日頃

図1のグラフが漁獲物100尾の体長組成です。体長は10~29mmの範囲、平均は19.5mmで、ふ化日の異なるいくつかの成長群で構成されている傾向がみられました。

大きい群は体長21~24mmを中心とした群で、これは、一日あたりの成長量を約0.7mmとすれば、4/10に島牧村(原歌~白糸岬)で実施した漁期前調査で得られた標本

(図2)と同じ時期にふ化した成長群とみなせます。この群は先の予測どおりすでに漁獲適正サイズに達しましたが、漁獲物全体に占める割合は40%程度となっています。26日現在で20mmにみえない後続の成長群が適正サイズに達して本格的な漁期を迎えるのは、さらに5~7日後、すなわち5月1日頃と考えられます。

昨年場合は、4/14に弁慶岬沖の調査で得られた標本の平均体長がすでに21.7mmありました。今年は昨年と比べ、適正サイズに達するのが遅いうえに荒天も重なり、漁期がずれこんでいます。

なお、4/19、4/25に寿都町漁協で漁獲されたホッケ(25尾及び21尾)の胃内容物を確認しましたが、イカナゴは見られませんでした。

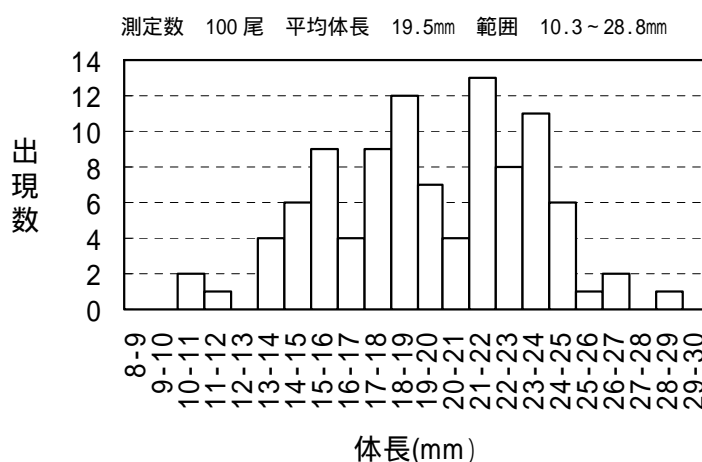


図1 寿都沖コウナゴの体長組成(4/26)

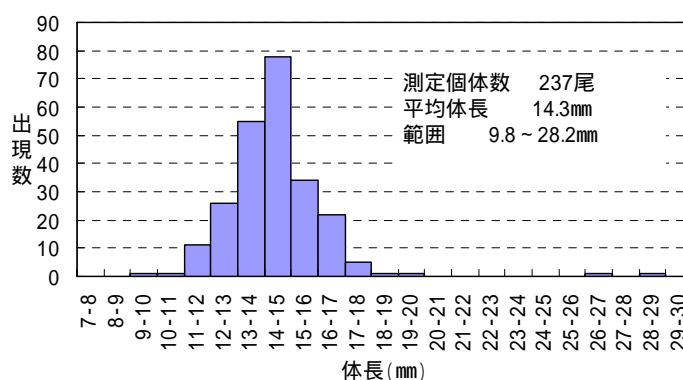


図2 4/10実施の島牧沖調査の体長組成